

地域住宅生産者グループ No.325

宮古の住まいを考える会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
「地域生産型復興住宅」	宮古・下閉伊・山田

グループの特徴とメッセージ

宮古の住まいを考える会は、「宮古下閉伊地域の風土と気候にあった性能と設備を持ち、快適で長命な住まい造りを通して、地域の発展に貢献する」と規定し、地域性を生かした健康で、快適な住空間を提供することを目的に活動しています。設計事務所・建築業者・流通業者で組織し結成後18年の長い実績で、宮古・下閉伊地域に高性能住宅を広くアピール・建設してきました。震災後応急仮設住宅建設に始まり自分たちが出来ることで、復興に役立つことがあるならば、何でもやる覚悟で頑張ってきました。復興住宅が地元の経済活性化につながり又、地元職人が後継者を育成でき、1人でも多くの若者が地元で暮らせるよう、地元企業に復興住宅を依頼して頂きますようお願いいたします。

グループの基本情報

グループ名称	宮古の住まいを考える会
所在地	岩手県宮古市上村 2-3-16 (有)甲斐谷建築企画内
結成年月	1994年6月
グループ形態	任意団体
主たる業態	工務店
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計9社 原木供給 : 社 製材 : 1社 建材流通 : 1社 プレカット : 社 設計 : 2社 施工 : 3社 その他 : 2社
代表者名	加藤尚 (加藤設計代表)
主な受賞歴・ 活動内容等	・平成8年岩手県ローコスト住宅 アイデアコンテスト最優秀賞受賞 平成8年住宅セミナー開催 平成14年みやこ型住宅標準 モデル基本設計

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,500~2,000万円
価格の基準面積	120㎡
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	9戸
うち地域材活用の住宅	4戸
うち長期優良住宅	戸
グループとしての 施工実績	あり 戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	10戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	100万円以上の大~ 中規模リフォーム工事 を20戸程度受注 (年間)

\*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口 (有)甲斐谷建築企画

担当者名	甲斐谷修治	メール	kaitani-kk@violet.plala.or.jp
電話番号	0193-63-7311	FAX	0193-63-7316
ホームページ	http://www16.plala.or.jp/kaitani/		
自由記入欄			

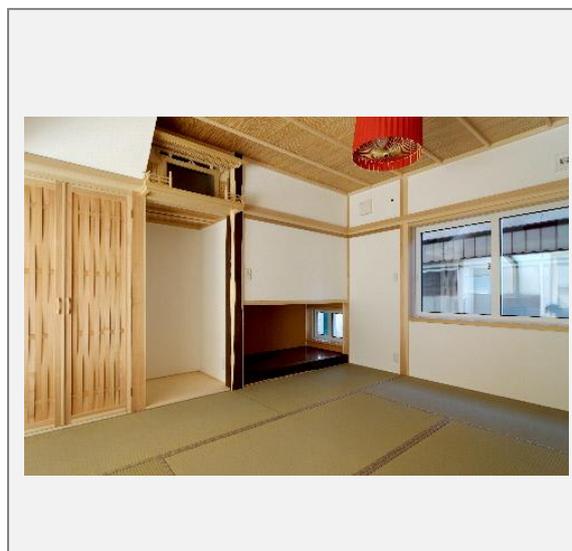
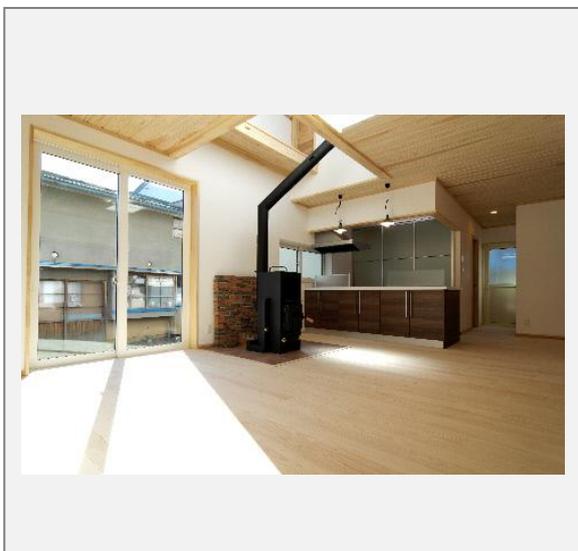
■地域材にこだわった家づくり

・宮古、下閉伊地域の木材を 24 m<sup>3</sup>、全体の 83% 使用した住宅です。柱は宮古産のスギ、梁は岩泉産の赤松、内部の羽目板、フローリングにもスギや赤松を使用しました。内部建具も地元の建具職人が製作し、木のぬくもりを感じることでできる安全で、快適な住空間を提供します。



■地域の気候風土にあった温かな住まいづくり

・沿岸地域特有の冬場の良好な日差しを有効活用出来るように、南面開口部を大きくとり、庇での夏場の日射遮蔽や、上下の気流を利用した通風計画とパッシブな計画をしています。



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：89.84 m <sup>2</sup> 2階：82.81 m <sup>2</sup> 合計 172.65 m <sup>2</sup>
設計	(有)甲斐谷建築企画	施工	(有)甲斐谷建築企画
施工費	円（設計費用は除く）	備考	—

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

## ■地元材を使用した住まい造り

・沿岸地域特有の冬場の良好な日差しを有効活用出来るように、南面開口部を大きくとり、庇での夏場の日射遮蔽や、上下の気流を利用した通風計画とパッシブな計画をしています。住宅への地域材利用を持続・拡大させ、地域の木が循環できるように、地域で生産される木材・木製品を出来るだけ使用し、木材の見せ方を工夫して木の温もりが感じられること。性能の高い住宅を提供し長く快適に暮らせる家を提供します。

## 主に活用している地域材について

地域材の名称	
樹種	杉、アカマツ
産地	岩手県宮古・下閉伊地域
認証制度等	岩手県産材認証推進協議会の県産材照明
主に取扱う材種	杉赤松無垢材、カマ松集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材

自由記入欄

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

## ■地域生産型復興住宅の特長

・性能の面は、環境負荷をかけないように、Q値  $1.6\text{W}/\text{m}^2$  以下、C値  $1\text{cm}^2/\text{m}^2$  以下と次世代基準を大きく上回る性能を確保いたします。

・耐震性については、耐震等級2の性能を持つ設計とします。

⇒住宅性能（例えば、耐震性、耐久性、環境配慮、省エネルギー、バリアフリー化、将来の変態対応の工夫、維持管理容易性の確保）に関する特徴や工夫している点、目標とする住宅性能表示の項目 等

⇒工法や施工方法に関する特徴、工夫している点

⇒使用する主な設備や仕上げ、建具などの項目



